

Series 36

オーディオ
つれづれの記

空から真空管アンプ

～雲を掴む様な私の趣味遍歴～

大澤 敬輔

2024年4月入会

2024年4月に入会させていただきました大澤敬輔です。

私の人生前半のテーマは『空』でした。

千葉工業高等学校電気科を卒業後、飛行機整備の仕事につき、子供の頃から憧れていた自家用飛行機の免許を23歳で取得。

当時の教官から、「アクロバットするならパラシュート装着が必要だ。」と言われ、スカイダイビングの世界に飛び込みました。

高度4000mからの降下を600回余り繰り返した30代。

グライダーにも興味があったのですが、41歳で遅ればせながら15歳年下の女性と結婚し、これを機に、妻ののたまう『危険な遊び』からは足を洗いました。振り返ると、多趣味に過ごした独身時代でしたが、実は、今でも、『命がけで遊ぶのは面白かった』なんて思っています。



世間的には一寸遅いかと思われそうですが61歳で初めて持ち家を建てました。引っ越しも済み荷物も片付き、音楽でも聞くかとCDをスタートさせた時、それまで聴いていた自作真空管アンプ(1626PP)の音質に驚きの変化が！格段に良くなっているのです。

何故だろうと色々考えた末、辿り着いたのが『マイ電柱』効果でした。

皆さんもご存知でしょうか？今や伝説の番組『タモリ倶楽部』（2016年10月28日放送回）で紹介された『マイ電柱』。通常、柱上トランス1つで20軒分ほどの電力が供給可能だそうです、そうすると、各家庭の家電製品の発するノイズに干渉され、せつかくの

オーディオアンプも本来のポテンシャルが発揮できない。
そこで、自宅の敷地に専用の電柱を設置し、純度の高い電源を直接
取ることにより、よりクリアな音を実現する！という話でした。
『そんなに効果があるのか？』と疑いの眼で見っていた私でしたが、
今、新居の窓から見える電柱の柱上トランスからの引込線は我が家
を含め、4軒のみ。それまで20年住んでいた団地は、1棟に32
世帯がひしめく環境。どう手を尽くしても『なんかつまらないな』
と思っていた自作アンプが電気環境一つで別物になる体験は、衝撃
的でした。

思い起こせば、トランジスターより真空管の方が良い音が出ると
評判の真空管アンプを高校生時代から作り始めました。知識も乏し
くラジオ工作誌を頼りに 50BM8 シングルがスタートと記憶してい
ます。上手く作動したかどうかは不明です。就職して収入が安定し
た頃に、7189APP をサンスイのトランスで作った物がノイズも出ず
動作も良好で、成功作でした。スピーカーは長岡氏の DB10 や R8
など製作し、その迫力に圧倒されていました。

無線と実験(MJ)誌に出会ったのは30歳代前半でしょうか、
本格的なアンプやスピーカーの製作記事に夢中になりました。
主要真空管が品薄との噂に惑わされ、KT66・KT88・2A3・F2a11
などの真空管やタンゴ・タムラのトランス類を気が狂った様に買い漁り
貯金が空になり掛けて焦った事を、今でも生々しく記憶しています。

自己流のアンプ作りでは心許無いかと、MJ 誌で知ったオーディオ
専科の門を叩き森川氏にアドバイスを頂き、KT66PP と 2A3PP ア
ンプを制作したのが本格的スタートでした。回路設計などは出来ま
せんが、自分の好みに合った回路や部品の仕様を変更して楽しんで
きました。しかし今までに何台のアンプを作り、気に入らないから
と分解してきたか、自作派の困った性分です。

その後、あの『マイ電柱』効果をきっかけに、自作のアンプに少々自信を持った私は、競技会にもチャレンジすることに。

部品調達で通っていた秋葉原のトランス販売店で、色々アンプの話題で親しくなった店員の方から蓮田オーディオクラブの競技会に出ないかと誘われたのです。自分の耳の聴こえ方の性能確認にもなるのではないかと、2023年11月に6B4Gシングルアンプで参加。結果は初戦敗退、参加者のレベルが違いました。無線と実験(MJ)誌のライターの方などベテラン揃いです。2回目の挑戦は2024年4月、今度は6V6GUL 接続シングルアンプでトランスや部品の品質を良質な物に替え参加、22人中ベスト8まで延ばし自分でも驚きました。



この2回の競技会参加で得た経験や情報は自分にとって貴重な事です。どんな部品を使っているのか、こんなアイデアが使われているなど、他の参加者のアンプを観察できます。しかし自分が敗戦した要因を考えると、回路図通り指定部品で作ってもなかなか上位には上がれないと痛感しました。自分の作ったアンプだから良い音が出ていると信じたい、実際このアンプの音だけ聴いていけば良い音だなと思っています。ライターの方でもベテランの方でも初戦敗退しますから、シビアーな競技会です。

そうした競技会で知り合った石井さんから、「AAFCは気軽に参加できる会」とお誘いを受け、早速入会させていただきました。リラックスして活動に取り組む事が出来そうな雰囲気、自作の真空管アンプや好きなジャンルの音楽を披露させて頂こうと楽しみにしています。

人生も後半戦。70代を目前にして、ゆったりと音楽を楽しむ日々です。

とは言えオーディオの世界はあまり深く探って来ませんでしたので
お手柔らかにお願いします。

よろしくお願いします。

